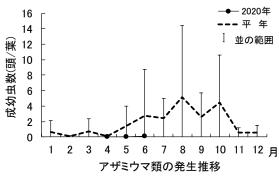
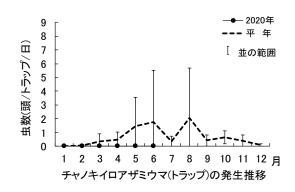
作物	マンゴー		地域	宮古群島	
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ				
予報	7 月の発生量(平年比)	並			
	6 月からの増減傾向	7			
予報の 根拠	6 月の発生量(平年比)	並			
	その他 (気象要因など)	新梢の発生量が増加するため			

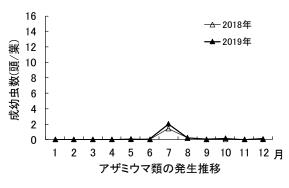
調査結果

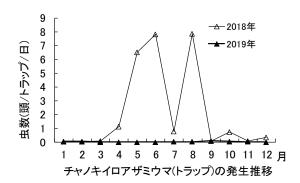
今期と平年の推移





過去2年間の推移





- ・関係機関より一部ほ場で多発情報あり
- ・見取り調査による発生施設率:60.0%(平年値:51.2%)

防除のポイント

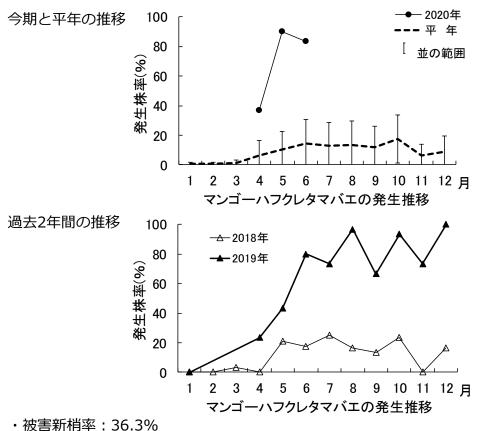
- ・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。 多発した施設では、収穫後に薬剤による防除を行う。
- ・不要な新梢は、施設外に除去する。



ナガエコミカンソウ

作物	マンゴー		地域	宮古群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ			
予報	7 月の発生量(平年比)	多		
	6 月からの増減傾向	\rightarrow		
予報の 根拠	6 月の発生量(平年比)	多		
	その他	平年の発生量の推移(→)		
	(気象要因など)	新梢の発生量が増加するた	め	

調査結果



・発生施設率:100%(平年値:34.2%)

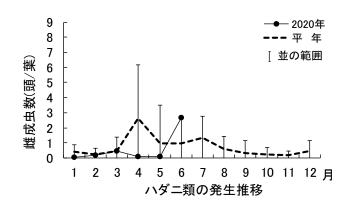
防除のポイント

- ・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、 地面に落下して蛹化する。
- ・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

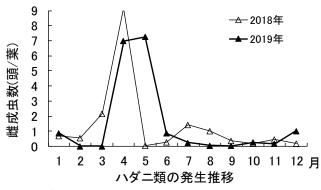
作物	マンゴー		地域	宮古群島
病害虫名	③ ハダ二類			
予報	7 月の発生量(平年比)	やや多		
	6 月からの増減傾向	7		
予報の 根拠	6 月の発生量(平年比)	やや多		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移(ク)		

調査結果

今期と平年の推移



過去2年間の推移



- ・発生種:シュレイツメハダニ
- ・発生ほ場率:10.0%(平年値:29.8%)

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。